

県と市町村との連携まちづくり(奈良モデル)への支援

【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

県と市町村との「**まちづくり連携協定**」に位置づけた、**まちの拠点エリア**における**社会資本整備総合交付金対象事業への重点配分**

奈良県における取組

■「県と市町村とのまちづくりに関する連携協定」による取組(奈良モデル)

- ・小規模で財政基盤の弱い市町村が多く、単独では積極的なまちづくり展開が困難
- ・県は市町村と「まちづくり連携協定」を締結し、**鉄道駅などのまちの拠点を対象エリアとして定め、構想策定段階から技術的・財政的支援を実施し、まちづくりを強力に推進**

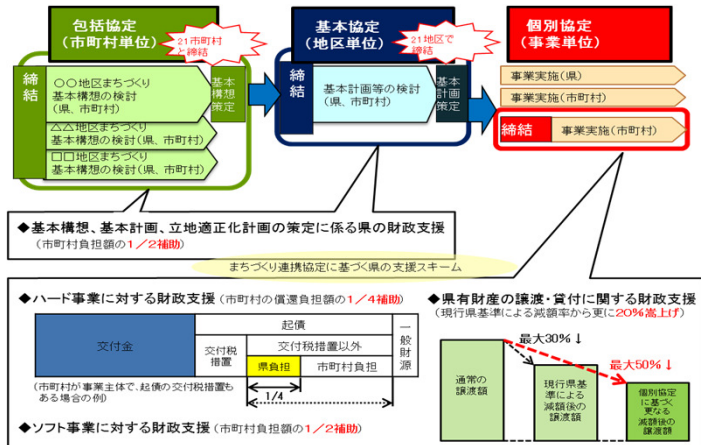
○県と市町村が、協定を締結し、協働でまちづくり事業を実施

- ・**鉄道駅などの拠点機能の充実**
- ・**空き家・空き店舗の活用**
- ・**まち中ファシリティーマネジメントの推進**
(公共施設・公的不動産等の再配置・集約化・利活用)
- ・**にぎわいづくり事業やイベント等の実施**

○これまでに、21市町村と包括協定を締結、7市2町21地区で基本協定を締結。

<連携協定の進め方と支援スキーム>

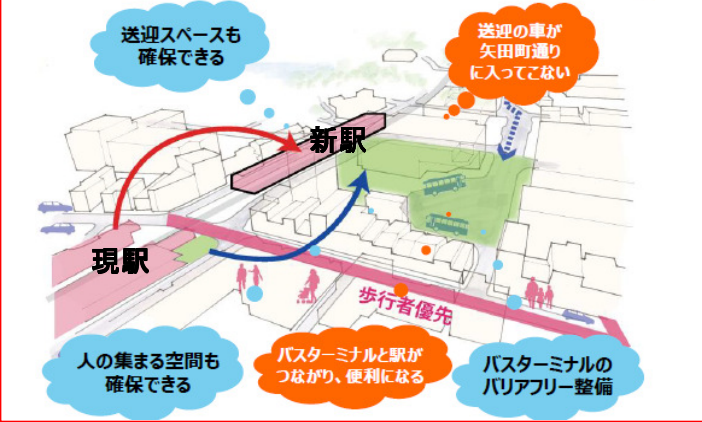
プロジェクトの進捗にあわせ、段階的に協定を締結し、市町村を支援



<大和郡山市 近鉄郡山駅周辺地区>

地区内の自動車交通をできる限り抑制し、歩いて暮らせる安心安全で快適な生活環境の実現に向け、駅の北側移設による駅前ロータリーとの一体化、市役所をはじめとする周辺の公共施設等の再整備を行うなど、ダイナミックに駅前をリニューアルするとともに、城下町の資源を活用した地域の活性化及びそれらを担う人材育成なども併せて県と市が連携して行うことにより、まちの課題解決を目指す。

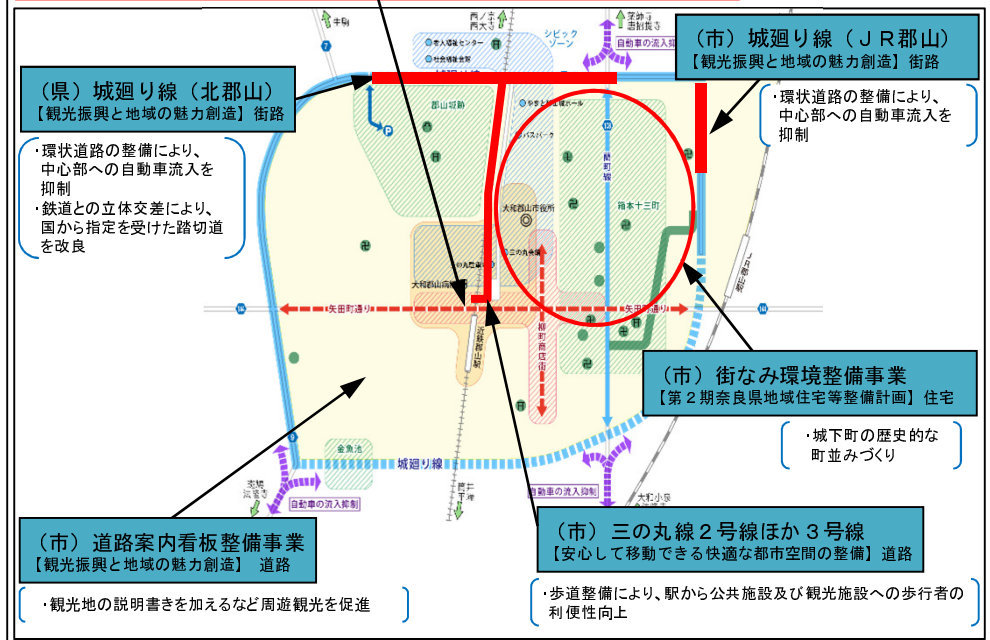
近鉄郡山駅の北側移設(イメージ)



歴史的な町並みづくり



金魚の素材を活かした演出



【県担当部局】まちづくり推進局地域デザイン推進課